



2022年カード不正利用被害額は過去最大の約436億円[※] 次世代“ID/パスワードレス”決済「ROUTE PAY」サービスサイト公開

※一般社団法人日本クレジット協会「クレジットカード不正利用被害額の発生状況」(2023年)

特許技術を用いた次世代決済「ROUTE PAY」を提供し、安全な決済環境の構築を行う株式会社PAY ROUTE（本社：大阪府大阪市北区、代表取締役：田川 涼）は、ID/パスワードが不要である自社決済サービス「ROUTE PAY」のサービスサイトを2024年2月1日に公開しました。

The infographic features a blue background with white and yellow text. On the left, it displays statistics for credit card fraud: 2022年 (2022) 約436億円 (Approx. 436 billion yen) and 2023年 (2023) 約536億円 (Approx. 536 billion yen). A red warning triangle icon is next to the 2023 data. Below the statistics, it notes that fraud is increasing and that 2023's total was the highest in the previous year, exceeding 100 billion yen more than 2022. On the right, a smartphone screen shows the ROUTE PAY app interface with a Visa Platinum card and various payment options like IDレス, パスワードレス, キャッシュレス, カードレス, and サインレス.

Year	Card Fraud Amount (Billion Yen)
2022年	約436
2023年(着地見込み)	約536

不正利用の被害額は年々増加傾向にあり、2023年は過去最高額であった前年度(2022年)よりも約100億円も被害が拡大。

出典：「一般社団法人日本クレジット協会」より引用

日本クレジット協会によると2022年のクレジットカード不正利用被害額は過去最大の436億円、2023年は536億円（見込み）です。クレジットカード不正利用被害額は年々増加傾向にあり、偽のウェブサイトへ誘導してカード番号やパスワードなどを盗む「フィッシング詐欺」の増加がその大きな要因の1つだと考えられます。また、中には決済を行ったサイトが外部からハッキングされ、クレジットカード番号や個人情報が漏洩するケースも存在し、クレジットカード不正利用防止は、カード情報を預かる事業者、オンライン決済を利用する生活者双方の注意、対策が必要です。

「ROUTE PAY」は個人が特定できてしまうであろう固定の番号等との紐づけを一切せず、ID/パスワードレス決済を可能にする独自技術（『ROUTE CODE』）を採用した次世代オンライン決済です。クレジットカード情報とID/パスワード情報が完全に切り離されているため、万が一、ID/パスワードが流出した場合でもクレジットカードを不正利用されることはありません。

▼サイトURL

<https://pay-route.co.jp/routepay-lp/>

■キャッシュレス・カードレスによる“安心・安全”なオンライン決済「ROUTE PAY」とは

通常の決済システムは登録時に個人情報と紐づけが必要となりますが、ROUTE PAYはID/パスワードレス認証「ROUTE CODE」を採用しており、アプリ登録時に個人情報入力は必要ありません。クレジットカード情報もアプリ上に一切保存されず、安心・安全な次世代決済システムを実現しています。



PAVROUTE

特長1：ID/パスワードを使用せずスマホで安全で非常に容易な認証可能

個人情報の入力は一切不要の当社認証システム『ROUTE CODE』。IDやパスワードも利用しない認証により、今まで以上にセキュアなログインや決済等を行うことが可能です。

＼ID/パスワードは不要！／



特長2：ハッキング、フィッシング詐欺リスクは理論上ほぼ不可能

通常の決済方法だとオンライン上に流通するID/パスワードをハッキングや詐欺で盗まれる可能性があります。しかし、ROUTE PAYはID/パスワード入力が必要なく、また店舗やサイト等にカード情報を送信しないため情報漏洩の心配は必要ありません。

＼情報漏洩の心配がなく、安心！／



特長3：お買い物完了まで数秒程度のカンタン決済

サイトにログインしたら決済完了まで数秒程度で完結。サイト側にクレジットカードを登録する必要もありません。また店舗での導入も簡単でタブレット決済も行うことができるため店舗運営者様にとっても便利な仕組みとなっています。

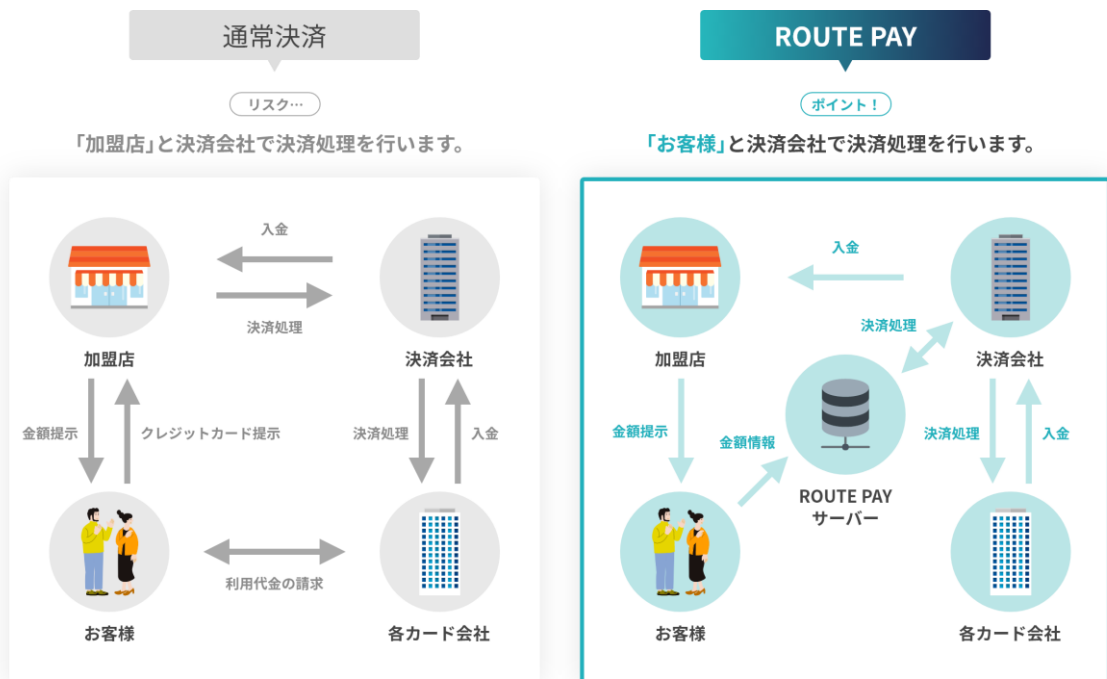
＼早くて、カンタン！／



■ 従来の決済システムとの違い

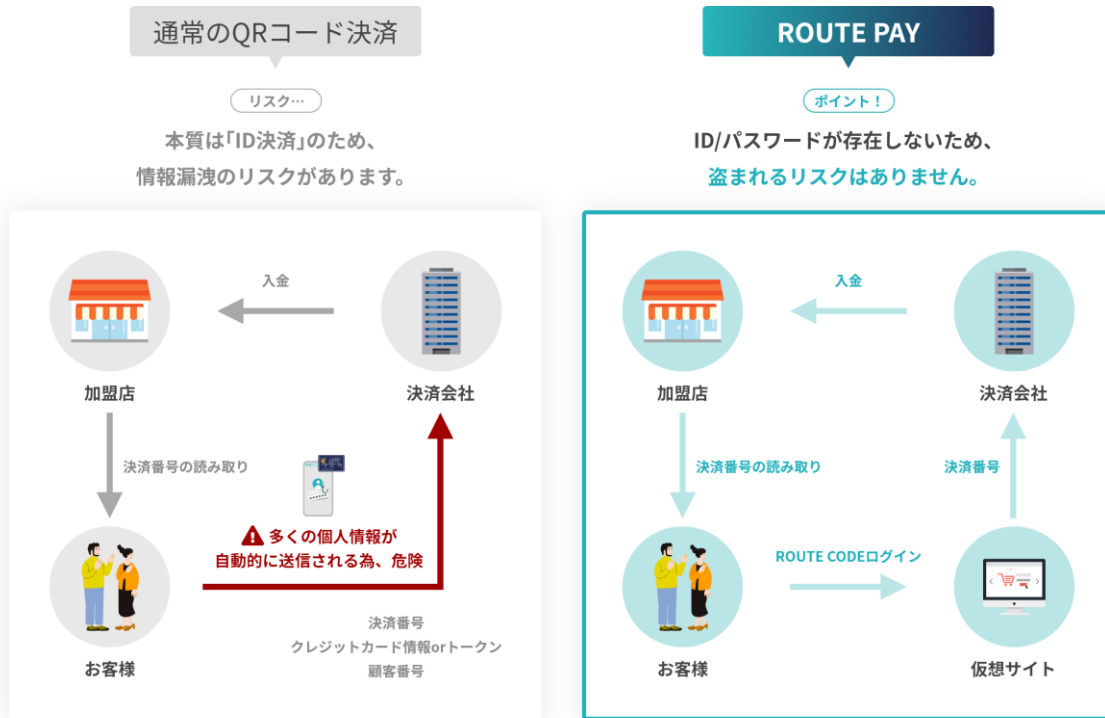
通常決済との比較

通常、カードを取り出し、カードの暗証番号を入力する必要がありますが、ROUTE PAYではカードレス、暗証番号レスおよびID/パスワードレスで決済を完了可能です。



QRコード決済との比較

クレジットカード情報は決済会社が保有。また、ID/パスワードが存在しないので、情報漏洩の心配もありません。



■株式会社PAY ROUTEについて

「複合FinTechの力により、安心して笑顔の溢れる世の中をつくり続ける」をパーパスとし、クレジットカード決済事業、オンライン決済事業、セキュリティ開発事業、決済ソリューション開発事業を主業としており、『Visa国際×国内クレジットカード会社』より正式に認可されたアクワイアリング・エージェント（通称：AA）として、クレジットカード加盟店業務を行うVisaの加盟店総合窓口の会社です。

VISAの国内決済会社と直接契約することで、加盟店は決済代行業者を通さずに直接カード売上が入金される仕組みを執っているため、加盟店にとって決済手数料等をおさえることができます。また、WEB上でのオンライン決済と実店舗での端末機決済の両方を一括導入することができ、最新セキュリティシステム採用したID/パスワード不要ログインシステムの開発により、加速的に新サービスを展開しています。

■会社概要

社名：株式会社PAY ROUTE（ペイルート）

所在地：本社 大阪府大阪市北区堂島1-1-25 新山本ビル6F
東京支社 東京都港区赤坂3-13-3 赤坂セントラルビル2F

設立：2011年4月

代表者：代表取締役 田川 涼

資本金：9,917万5,000円

事業内容：クレジットカード決済事業、オンライン決済事業、セキュリティ開発事業、決済ソリューション開発事業

URL：https://pay-route.co.jp/